



第二中学校だより

新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10

「明るい挨拶 光る汗 きれいな学校 きれいな心」

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

新年あけましておめでとうございます。

校長 伊藤 進

新年明けましておめでとうございます。昨年は、地域の皆様、保護者の皆様には本校の教育活動をご支援・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。大きな事故もなく1年のまとめの学期を迎えることができました。教職員一同、気持ちを新たに充実した教育活動に取り組んでまいります。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、「一年の計は元旦にあり」と言われます。このことわざの由来は諸説ありますが、中国の学者が著された書物「月令広義」に「一日の計は晨（朝）にあり、一年の計は春（元旦）にあり」と書かれていることが由来と言われています。何かを始めるときに無計画で行動するよりも、目的意識を強く持ち、計画を立案し、主体的、意欲的に取り組むことが大切です。やろうという志がしっかりしていさえすれば、たとえ障害があってもなしとげることができるものです。ご家庭でも、お子さんの新年、第3学期の目標を話題にさせていただくと、より一層の励みになると思います。

2020年に東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。オリンピックでは33競技ありますが、その一つ「射撃」が新座市立栄小学校の裏、陸上自衛隊の射撃訓練場（新座市新塚）で行われます。また、埼玉県・新座市がブラジル連邦共和国の選手団が実施する事前キャンプのホストタウンになっています。

本校は新座市内の公立小中学校とともに「東京2020オリンピック・パラリンピック教

育実施校 ようい、ドン!スクール」として東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より認証されています。

「ようい、ドン!スクール」とは、オリンピック・パラリンピック教育に取り組む学校の教育事業を認証する制度。

生徒がオリンピック・パラリンピック、スポーツの価値を学習する機会や多様な国や文化に触れるほか、アスリート等と交流できる機会を促進させ、次代を担う人材を育成することを目的としています。



本校では、12月にオリパラ教育と国際理解教育の一環として1年生でブラジルの食と文化について学習しました。「東京2020ゴールドパートナー」企業の方より、日本の反対側にあるブラジル連邦共和国の風土、学校生活、食文化、そしてチョコレートを通じた日本との関わりについて学びました。1年生徒（4組春田くるみさん）の感想です。「コーヒーも1位だったのは意外だった。カカオ豆の栽培方法を知り、カカオは大切なものなのだと思いました。一つひとつ丁寧に人の手で作られているのに感動しました。」これからもオリパラ教育、国際理解教育を推進していきます。

